

管内地域動向調査

管内地域の人口

項目 年	総人口	労働力 人口	就業者数	完全失業 者数	外国人 人口	市町村内に 通勤してい る人口	他市町村へ 通勤してい る人口	他市町村から 通勤してい る人口
2020年	142,314	64,491	61,738	2,753	1,578	21,521	37,580	21,059
2015年	149,236	68,266	65,033	3,233	1,047	22,034	40,260	21,147
増減率	-4.6%	-5.5%	-5.0%	-14.8%	+50.7%	-2.3%	-6.6%	-0.4%

(統計でみる市区町村より抜粋)

管内地域の事業所・従業員数など

項目 年	総事業所数	従業員数	売上高 (100万円)	※付加価値額 (100万円)
2021年	4,427	43,413	413,137	114,202
2016年	4,395	42,572	365,211	126,184
増減率	+0.7%	+1.9%	+13.1%	-9.5%

※付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費）

(REASASより抜粋)

近鉄長野線各駅での1日での乗降客数

項目 年	喜志	富田林	富田林西口	川西	滝谷不動	汐ノ宮
2023年	15,019	11,227	5,818	3,645	4,869	1,971
2020年	11,708	10,290	5,516	2,964	4,011	1,668
2019年	17,226	13,577	6,537	3,830	6,914	2,190

(国土数値情報より抜粋)

管内地域の人口動向として、少子高齢化の影響により総人口および労働力人口（15歳以上で現在就業中および求職中の人口）が減少傾向にあります。しかし、労働力人口の減少率に対して就業者数の減少が緩やかであるのは、人手不足による完全失業者数の減少と外国人労働者の増加が影響していると考えられます。また、2024年1月時点の富田林市の外国人人口は2,603人であり、技能実習生などの外国人労働者の受け入れが加速していることがうかがえます。

管内地域の事業所の経済動向としては、事業所数、従業員数、売上高ともに増加しているものの、付加価値額は減少しています。これは、2020年5月からガソリン価格の上昇傾向が続いており、それに伴い物価や経費が増加し、売上高や販売単価への転換が追いついていないことが要因であると考えられます。

管内地域の主要公共交通機関である近畿日本鉄道長野線の乗降客数の推移を参考に地域経済の回復状況を分析すると、富田林駅と滝谷不動駅以外の4駅はコロナ前の約90%ほどに回復しており、人口減少の推移を含めると地域経済が新型コロナウイルス感染症の影響から脱しつつあることがうかがえます。また、富田林駅と滝谷不動駅は4駅と比べて観光名所の最寄り駅であることから、観光業の回復が影響しており2023年の訪日外国人客が2019年比約22%減していることが影響していると考えられます。